



KAHF ニュースレター

〒606-8035 京都市左京区吉田河原町 15-9 京大会館 116 号
財団法人 京都国際文化協会内
京都ホストファミリー協会(KAHF)

No.8
2009.3 発行

行事予定 2009/2010

4月26日

- ・ ケーキパーティー
(吉田南キャンパス生協 2F)
14:00 ~ 16:00

5月17日(雨 24日)

- ・ ハイキング
(御所内)

7月

- ・ 祇園祭
(船鉾・岩戸山参観)

10月

- ・ 大原 BBQ(予定)

1月17日

- ・ 新春親睦パーティー
・ バザー
(国際交流会館イベントホール)

3月

- ・ 総会ファミリーの集い

KAHFファミリーの皆様、日頃は留学生のお世話に、また、KAHFの活動にご尽力くださりまして誠にありがとうございます。

今回は、貴重な紙面で、私の個人的な体験をお話しさせていただきますが、ご容赦ください。私の生まれたのは1931年、満州事変の年でした。当時の男の子の多くがそうであったように、典型的な軍国少年として育ち、職業軍人として若くして命を落とすことを人生の目標としていました。3男ということもあり、両親もこのことを覚悟していました。

しかし、1945年8月の日本の敗戦により、その目標を失い、しばらくの間茫然としていました。やがて、なぜ日本が無謀な太平洋戦争に突入したのか、また、アメリカという国はどんな国であるのか、自分の目で確かめたいと思うようになりました。

1960年代のはじめ、アメリカ留学の機会を得ました。当時はまだ自分の近親者(息子、夫、兄弟あるいは学生の場合は父)を第二次大戦で失った人々が数多くいたにもかかわらず、一般のアメリカ人が、以前の敵国から来た留学生に対しても、広く心を開き、温かく迎えてくれたことに大変感激しました。

歴史には“もし”ということはないとは知っておりますが、もし太平洋戦争以前にも、数多くの日米の人々の間に心の交流があれば、あのような悲惨な戦争に突入することもなかったであろうと残念に思いました。「草の根の国際理解」がいかに大切であるかを痛感しました。

世界では、今もなお、局地的な紛争が続いていますが、市民レベルでの心の交流があれば、容易に解決できるのではないのでしょうか。

今年 KAHF 発足 25 周年です。

B グループ世話人 岡村圭造



<http://www.geocities.jp/kahfjp/>

ホームページ、
リニューアルします。
乞うご期待!!

目次

- 1- 表紙
- 2- 行事あれこれ+one
- 3- 行事あれこれ+one
- 4- 留学生と私 他
- 5- 受入留学生
事務局より

…… 行事あれこれ + one ……

・ ケーキパーティー (吉田南キャンパス生協 2F)

4月20日



春

今年も例年以上の盛況で140名近くの参加がありました。ケーキパーティーが留学生間で定着してきたようでKAHFとしてはうれしい限りです。ホストファミリー希望の申し込みも約40名からあり、世話人は受け入れ先探しに大忙しになりました。

来年はKAHFメンバーの知人、友人を是非、ケーキパーティーに誘ってください。KAHFの活動を見てもらうことで、新メンバーが増えるといいですね。

また、今回は会場のレイアウトにも工夫を凝らしました。バザー会場の場所を変更し、大勢の人数でも混乱せず交流できるようにしました。バザー会場も買物がしや

夏



・ 祇園祭 船鉾・岩戸山参観

7月14日

「船鉾の前で、浴衣姿も涼しげな西村(隆)ファミリーの学生さんに囲まれて。カーフをやっているとこんな嬉しいこともあります。

(写真もB西村さん提供。)E.I.」

・ ハイキング (出町柳 ~ 植物園)

5月18日

50余名の参加がありました。晴天に恵まれ、出町柳から賀茂川河川敷を植物園まで歩きました。美味しいお弁当の後、広場でゲームをしました。「ハンカチ落とし」ゲームではホストファミリーも年を忘れ、留学生と同年齢の気分で張り切りました。いい汗をかいた後は、盛りのバラ園を散策したり、陶板名画の庭を見学しました。(M.N)



+one

11月3日国際交流会館のOpenDayに参加しました。初めての参加で効果があるのかどうか心配でしたが、無事に4組の新しいファミリーを迎えることが出来ました。

会館の表では各国の料理のテントが所狭しと並び、さまざまな料理を楽しむ事も出来ました。



秋

..... 行事あれこれ + one

大原バーベキュー 10月19日



私は大原のバーベキューに参加しました。廃校になった小学校で行われ、今年は晴れていたのグラウンドでフリスビーなどをして遊びました。しばらくするとお肉や焼きそばが焼きあがり、妹や留学生の人たちと食べました。毎年お肉がたくさん食べられて、とても満足です。食べた後はみんなで走って遊び、景品をもらったりしました。多くの人たちと交流することもでき、楽しかったです。(A.M)

京都市市民防災センター見学 11月16日

当日は、30名が参加。2時30分より職員の方よりオリエンテーションを受けた後、二つの班に分かれ、いよいよ見学開始です。

ほとんどの留学生が初めての見学体験でした。消火器を使った消火体験や、擬似地震発生機による地震体験や、強風体験など、ドキドキ感満載の体験でした。特に、地震国でない国からの留学生などは、あまりの揺れにびっくりした様子で、しばし呆然の人もいました。

この見学は、留学生にとって、またファミリーにとっても、防災意識を新たにす貴重な経験の日となりました。(M.A)



新春親睦パーティー・バザー 1月11日

新春

新春を飾る親睦パーティー及びバザーでは、56ファミリー98名の参加協力のもと、129名の留学生を迎えて、総勢220有余名をかぞえる盛況裡に終わりました。谷垣昌敬カーフ世話人代表の挨拶、猪野愈さん発声の乾杯で始まり、歓談が進みました。引続きインドネシアからの留学生・ウイディアさんの優雅な民族舞踊が披露されました。KAHFの活動を陰日向なく支えて頂いた91歳にして今尚お元気な奥田起代子さんをはじめ四代に亘る奥田さんファミリーの紹介がありました。そして福引と子供さん達へのお年玉進呈がロジャー・パーマー奥田朝夏夫妻の軽妙な司会で和気藹々のうちに進められました。

そのあと皆様の心尽くしの品々が出品されたバザーが開かれました。新春パーティーは留学生にとってもファミリーとの交流や普段会えない友人と会ったり、新しい友人をつくる場であると共にファミリー間の親睦の場としても楽しんで頂いたと感じました。このパーティーを開催に各方面でのご協力頂いた皆様のお蔭で順調に実施できましたことを皆様と共に喜びたいと思います。(R.N)



+one



ラジオカフェ 1月29日 (K.M)

月日寒さの凍みる夕暮前の午後時半に、谷垣先生、高橋さん、西村さん、そして私の4名が 寺町三条角の三嶋亭の向かいにあるラジオカフェのオフィスに集合。パーソナリティーの町田氏と打ち合わせの後、午後時より分間の番組に出演。

KAHFの歴史や活動内容について主に話をしました。

「留学生と私」

A-3 鈴木道子

私はKAHF 発足後間もない頃、誘われ請われるままに軽い気持ちでホストファミリーに引き続き世話人としていつの間にか多様な国々からの留学生をホストして今に至っております。

この度の原稿依頼は過去を顧みるよい機会となりました。

留学生との関わりの密度は我家の人生の節目節目と共にありました。

親の看病介護看取り、子供の進学自立等、つつい心ここにあらず、の不本意なホストだった時の留学生には今尚心苦しく申し訳なく反省しております。

また目下我が家のホスト役は偏に私独りの肩にかかりつつい女子留学生をお世話する事が多くなっております。ブラジルからの女子留学生日系三世のカレンハラダさんとイランからの女子留学生アフアリンさんをホストした時は精神的にも時間的にも余裕のある頃でした。アフアリンさんの専攻は日本画のテキスタイルデザインで京都工芸繊維大学の修

士課程から東京芸大の博士課程を受験合格の厳しい試練を共に分かちあいました。言葉の壁からくる折々の難所を励まし乗り越え健気で純粋な彼女の大きな熱い夢が叶った時の感激は今も良き思い出となっております。

東京芸大進学後も彼女との交流は続き逐一近況報告が届きます。

学生時代に同じくイランからの留学生と出逢い恋し結婚、今では一児の母となり横浜で公私ともに充実し幸せに過ごしております。夫君も東大で博士号を取得し日本の大手企業に就職しております。一昨年のゴールデンウィークには家族揃って、また秋にはアフアリン独りでやって来ました。一人入浴の折には京都時代を懐かしく思い出し感慨に浸っておりました。去るものを追わず来る者を拒まずをモットーの私ですが末永く交流が続くのはやはり嬉しいものですね。

私自身はKAHFの歩みと共に老いを感じる事の多い昨今ですが今暫く及ばずながら構えず自然体で過去の経験を生かし留学生のお世話を続けたいと願っております。



「奥田ファミリー」



KAHFの活動が25年になった。そんな事で新年パーティーの席上、私達一家が四世代でこの活動に参加しているのは珍しいとの事で、全員舞台上に並ばされ紹介された。一世代目の母は、この会の創立者のおひとり、故西朋太先生とは小学校の同級生で、80余年に亘るお付合の間柄だったのだ。私達は何の活動もしていない。特に四世代目のチビ達は、パーティーでの食物、飲物を減らす事にものみ尽力している。ところでこの子達の通う小学校には、留学生を招いてその母国の話を聞くという特別授業が企画されている。それに嘗て近くの高校のフェンシング部の臨時コーチになった留学生もいた。



この学生は日本人の女性と結婚し、可愛い二世を連れて遊びに来てくれた。

こんな風に何世代にも亘り多くの国々の様々な人々が広く深く交わっている様は、紛争の絶えない世界であっても、私達に何か安らぎを与えてくれる。

奥田和郎



新入会ファミリー

Aブロック： 8組

Bブロック： 3組

退会ファミリー

Aブロック： 6組

Bブロック： 2組

*** お願い**：行事のリクエストや、留学生向けの情報など何でも結構です。事務局へお知らせください。

25周年記念の良い企画をお考えの方は、是非お申し出ください。アイデアお待ちしております。♥

* 又ファミリーの募集も随時受け付けております。ご興味のあるお友達を行事などにお誘いください。

引き受けた留学生の国と人数

アフガニスタン	1
インド	1
インドネシア	3
オーストラリア	1
グアテマラ	1
シンガポール	1
中国	21
タイ	15
台湾	9
ネパール	3
バングラディシュ	2
フィリピン	1
ブラジル	1
ブルガリア	1
ベトナム	2
ベルギー	1
マダガスカル	1
マレーシア	4
モロッコ	1
モンゴル	2
レバノン	1
ロシア	1



編集後記：KAHFに入会してもう18年になります。

人間で例えると高校3年生です。と考えると、まだまだですね。このニュースレターも去年のカラー刷りに続きこれからはずっとと考えると、こちらがこんな風になりたいあんな風になりたいと思っても、コンピューターの方は中々私の気持ちを受け止めてくれません。ちょっと右に寄ってといっても、スルスルッとどこかに逃げてしまったり、隠れたり、こちらは今にも脳梗塞を起こしはしないかと思うくらい頭の中が「うぐぐぐ・・・」という感じで、四苦八苦、七転八倒、・・・しながら九分九厘できたかなというところでしょうか。

でも、お陰さまで沢山の作業が出来るようになりました。

ありがとうございました。 h.n (・__・) /